

議事概要

1. 日 時 令和5年12月19日（火）10時00分～12時00分
2. 場 所 札幌第1合同庁舎 2階講堂
(札幌市北区北8条西2丁目)

3. 出席者

[委員長]

高橋 清 北見工業大学 教授

[委員]

岡田 美弥子 北海道大学大学院 教授

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭

島本 和明 日本医療大学 総長

菅井 貴子 気象防災キャスター

4. 議 事

計画段階評価について

- ・北海道横断自動車道 女満別空港～網走 第3回目
- ・北海道横断自動車道 蘭越～倶知安 第3回目

【委員からの主な意見】

- ・2024年問題が注目されており、物流や地域の移動手段の確保に向けて人手不足を補うためには技術の発展もあるが、人・物が確実に目的地に行くためには時間短縮や定時性を担保できる高規格道路の早期整備が必要。
- ・医療では、女満別空港～網走の周辺地域は北見市に依存しており、蘭越～倶知安の周辺地域は倶知安町に依存しているため、高次医療施設への時間短縮に対するニーズが高く、命を救う道路として高規格道路を整備することは非常に重要。
- ・蘭越～倶知安間は豪雪地帯であり、ドクターヘリが飛べないことも多いことから、高規格道路の重要性は高い。
- ・世界自然遺産「知床」や世界で注目される「ニセコリゾート」において、観光客の定時性を確保するためには高規格道路は重要。
- ・概ね30年周期で噴火を繰り返す有珠山は、前回噴火から20年以上経過し噴火のリスクが切迫しているため、太平洋側の物流ルートの代替路として蘭越～倶知安の高規格道路は重要。
- ・女満別空港～網走間は吹雪、蘭越～倶知安間は豪雪地帯であり、これらの災害でも通行を確保するためには、1路線では無く複数路線の確保が必要。
- ・インターチェンジには観光地を案内する標識などの整備が必要。
- ・1世帯に2台以上車がある時代でもあり、女性ドライバーや若年層の意見も多く収集する工夫が必要。今後の意見聴取では、1世帯1回答ではなく複数人が回答できる工夫や質問項目の中で優先すべき項目の順位を把握できるような回答欄を設けてみてはどうか。

【委員長による総括】

- ・北海道横断自動車道 女満別空港～網走間の対応方針（案）については、
【案①】別線・市街地アクセスルートで了承。
- ・北海道横断自動車道 蘭越～倶知安間の対応方針（案）については、
【案①】別線整備ルートで了承。

以 上